

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 坪田 康 副委員長 近藤公久・竹内和広
幹事 森下美和・高田明典 幹事補佐 神長伸幸・下郡啓夫

日時 12月18日(土) 9:45~17:20

会場 オンライン開催

議題 テーマ:(1)人間の心的特性に寄り添った学習環境のデザイン,(2)言語表現と心的内面の関係,(3)思考と言語一般

18日午前 一般セッション(1)(9:50~10:20)

1. ニューストピックに対するサイト内コメントの反響(echo)の分析—YouTubeとYahoo!ニュースのコメント欄の比較—
○松原弘明(電通大)・今江 崇(導線設計研究所)・橋山智訓(電通大)

サンドボックス環境における学習(1)(10:30~12:00)

2. Minecraftの外国語教育への応用可能性 ○坪田 康(京都工繊大)・富田英司(愛媛大)
3. [依頼講演] インタフェースプログラミング教育のためのScratchゲーム教材構築の試み 魚井宏高(阪電通大)
4. マイクラ交流セッション(司会:富田英司)

18日午後 サンドボックス環境における学習(2)(13:00~15:40)

5. [招待講演] マインクラフトの教育利用における学習環境のデザインについて(仮)
タツナミ シュウイチ(Japan Crafters Union/KEC Miriz/明大/慶応)
6. 学生と共にMinecraftで作るSDGsのための学習環境—愛媛大学環境ESD指導者養成カリキュラムでの実践事例—
○小林 修・富田英司(愛媛大)
7. MinecraftとDiscordを用いた放課後支援事業の効果—愛大Minecraftの事例—
○富田英司(愛媛大)・坪田 康(京都工繊大)
8. 対面でのレゴ共同作業場面におけるELF環境インタラクション
○竹内和広(阪電通大)・谷村 緑(立命館大)・吉田悦子(三重大)

一般セッション(2)(15:50~17:20)

9. 日本人英語学習者のリテリングにおける言語産出の変容—語彙・統語的複雑さを中心に—
○関 君恵・濱田真由・横川博一(神戸大)
10. 英語多読及び口頭レポートのリフレクションに基づく音声活動・読解活動の充実化の検討—授業外多読活動と授業内活動を有機的につなぐループ構築のための一検討— ○杉本喜孝(手塚大)・坪田 康(京都工繊大)
11. 英語でヨガを学ぶための教材作成と語彙分析 カレイラ松崎順子(東京経済大)

【問合先】

坪田 康(京都工繊大)

E-mail: tsubota.yasushi@gmail.com